

長野県知事の意見

(湖周行政事務組合ごみ処理施設建設に係る環境影響評価準備書)

[全般、事業計画]

- 1 対象事業が既存施設の更新であることも踏まえ、環境負荷のさらなる低減を図るよう努めること。

[地形・地質]

- 2 現時点で想定される掘削場所、深度など造成計画を具体的に示すこと。また、計画地における地すべりの形態、土地の安定性に係る現況及び建設による安定性への影響について、施工前に十分にデータを集め、建物の配置や対策工等に適切に反映すること。
- 3 評価書において、準備書に示された地質構成表、断面図、地すべり面の位置図について矛盾がないように整合を図り、それに合わせて本文の記述を修正すること。

[生態系]

- 4 国蝶であり一般的に認知度の高いオオムラサキを、生態系を特徴づける指標種に選定し、予測・評価を行うこと。

[景観]

- 5 フォトモンタージュによる予測・評価について、現時点で想定される外観等の条件により、実際に人が凝視する際の視野で行うなど、具体的に景観がイメージできるように実施すること。